

支部長挨拶



支部長 加澤正樹(昭和48年法卒)

新型コロナウイルスの分類が5類に移行し、油断はできないものの社会生活も平穏な状況に戻りつつあります。

例年に増しての厳しい猛暑の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。第23回青松会首都圏支部総会は、これまで長年首都圏支部の集まりに利用してきた丸の内ホールスターが閉店したため、上野の新潟県人会館に会場を変更して実施しました。立地条件も良く、懇親会の会場も近くに確保できますので、今後も定例の会場として使うことになりそうです。

これまでの総会では、いわゆる西大畑世代が過半数を占め、五十嵐世代は少数派でしたが、今回は、西大畑世代と五十嵐世代はほぼ同数で、しかも平成の卒業生7名が参加しており、この他に理事として活動してくれている平成年代の若手も4名ほどいて、世代の若返りが徐々に進行しています。

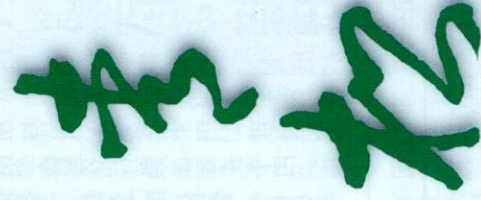
新潟からの来賓もお迎えし、常連の諸先輩方や懐かしい顔も揃って、御徒町駅近くの吉地で行われた懇親会も大いに盛り上がりました。

Web参加者及び懇親会のみ参加者も加えると全体で40名に迫る参加者で、従前の総会参加者数にはまだ及びませんが、多くの支部会員の参加を戴き御礼申し上げます。

7月8日に新潟市で行われた本部同窓会70周年記念総会では、同窓会活動に貢献された会員の特別褒賞が行われ、先輩支部長の村山様・増田様のお二人に加えて、首都圏支部同好会活動を立ち上げた功績で石黒様らが表彰されました。

また本部組織とは別に同窓会活動の場となる「新潟中央支部」(仮称)が立ち上げられるという新しい動きが発表されました。

首都圏支部では在京若手会員との接触の機会が少ないのが会員増強の壁でしたが「新潟中央支部」で同窓会活動に触れた若手会員が首都圏への転勤を機会に、首都圏支部の仲間となってくれることに期待したいところです。



新潟大学
人文・法・経済学部
同窓会
(略称) 青松会
首都圏支部 同窓会報

第37号(2023年9月発行)



編集責任者 岡小夜子
事務局 成田浩
〒179-0083
東京都練馬区平和台3-1-7
コスモジュエル氷川台403号
e-mail: seishoshutoken@gmail.com

令和5年度総会報告

事務局長
成田 浩
(昭和58年経済卒)

6月24日に湯島の東京県人会館で前年同様に会場とWEBのハイブリッドで開催いたしました。来場参加29名とWEB参加5名に加え、ご来賓として上村都法学部長と渡邊信子同窓会本部副会長に新潟からご列席いただきました。

昨年の来場参加が19名でしたので、コロナの分類が5類に移行し、感染も多少は落ち着いていたこともあり、大幅に来場者が増え、30人定員の会場がいっぱいになるくらいでした。

総会は加澤支部長の挨拶で始まり、来賓の上村法学部長からは最近の新潟大学の現状の報告があり、さらに引き続き首都圏支部の温かいご支援を賜るようご挨拶を頂きました。

渡邊副会長からは首都圏支部の

令和4年度 事業報告

令和4年度 事業計画	実施状況
4月下旬 第1回理事会開催	4月20日 第1回理事会開催 出席11名 メール20名(賛成19、議長一任1)
5月中旬 常任理事会(総会準備)	6月15日 WEB開催 5名参加 総会準備等 協議
6月25日 第22回支部会員総会	6月24日 第2回理事會開催(メールにて議事承認) 岡副支部長、川瀬会計監事の選任 メール28名(賛成28)
9月下旬 青松36号発行	6月25日 開催(対面・WEBのハイブリッド) 来場19名+WEB3名=計22名参加 於 東京新潟県人会館、懇親会17名参加
10月中旬 常任理事会 (第2回理事會準備)	7月2日 同窓会本部 第2回常任理事會 於 東映ホテル(新潟、加澤、成田参加)
10月下旬 首都圏五十嵐会	9月18日 1835部 郵送(岡副支部長)
11月中旬 第2回理事會	10月15日 常任理事會 5名参加、対面 第3回理事會準備 於 新宿、日本海屋 コロナ禍により中止
11月下旬 第19回青松芝葉会	11月19日 同窓会本部 第3回常任理事會 (新潟、成田参加、加澤WEB参加)
11月下旬 第89回青松ウォーキング 若手交流会	11月29日 第3回理事會開催(懇親会実施) 出席16名、WEB2名参加。メール23名 於 東京新潟県人会館 中止
1月下旬 常任理事會 (R5予算と活動計画)	11月27日 会員5名+ご家族4名 計9名 中止
2月下旬 第90回青松ウォーキング	1月21日 常任理事會 6名参加 対面 於 新宿、貸会議室
3月中旬 常任理事會 (R5第1回理事會準備)	2月26日 会員9名+ご家族5名 計14名 3月1日 常任理事會 7名参加 WEB 毎月5日前後に同窓会通信を配信

活発な活動が全国、特に本部同窓会にもいい意味で大きな刺激を与えて欲しいこと、また70周年記念事業への協力を依頼されました。

議事に入り、昨年度の活動報告、今年度の活動計画や予算等の議事を審議いたしました。また、会員資格の変更(大学院修了追加)および会費納入方法に今後QRコード決済も導入することを承認いただき、それに伴う会則変更をいたしました。総会議事は滞りなく終えることが出来ました。

総会議事終了後、新理事の弁護士服部真吾さん(平成21年新潟大学大学院修了)より講演を

頂戴しました。テーマは「トラップ前大統領の起訴にみる米国の刑事裁判制度について」と日米の司法制度に詳しい服部さんならではの興味深いお話をしていただき、大変好評でした。

総会終了後は懇親会会場に移動し、総会参加者以上の35名が参加され、それぞれ笑顔や会話が絶えない盛り上がりで、首都圏支部のパワーの源泉ここにありといった盛況ぶりでした。

ご来賓のお二方をはじめ、ご参加会員の皆様、準備に携わった役員の皆様に心より感謝申し上げます。

今後もどうぞ同窓会活動に積極的にご参加くださいますようお願いいたします。(第4面に写真を掲載しています。)

令和4年度会計収支報告と 令和5年度事業予算案と 会費納入のお願い



副委員長 会計担当
石井 正一
(昭和48年経済卒)

支部会員の皆様におかれましては、会費納入に絶大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様のおかげにて、令和4年度の収支決算は、次期繰越金1,017千円とする決算としてご承認を戴きました。

まずは、収入の部ですが、昨年度からの繰越金1,786千円、会費収入で282千円、年会費の納入で282千円、年会費収入と総会・理事会参加費の148千円で、総収入2,216千円となりました。

支出はコロナ禍の影響で活動が制限されておりました関係で、総会関係費469千円、会報発行費384千円、事務経費126千円、理事会・常任理事会関係費173千円、その他47千円で支出が1,200千円となり、次期繰越金1,017千円となっております。

●令和5年度 事業計画

事業計画	
5月13日(土)	第1回理事会 開催 来場22名+WEB3名 会場：東京新潟県人会館 時間：16:00～18:00 終了後懇親会開催(内の奇跡)
6月24日(土)	第23回 総会 来場24名+WEB8名+来賓・講師3名 会場：東京新潟県人会館 時間：16:00～18:00 終了後懇親会開催(吉池)
7月8日(土)	同窓会70周年記念事業(新潟)会場 ANAクラウンズホテル 総会と同時開催
9月頃	第1回 首都圏五十嵐会 開催 20名目標
9月下旬	青松37号発行(R4 9/18 1835部)
11月中旬	第2回理事会 開催 来場20名+WEB5名目標
2月頃	第2回 首都圏五十嵐会 開催
	常任理事会(年4回程度)
	青松芝楽会(年2回)
	青松ウォーキング(年4回程度)
	同窓会通信を配信(毎月5日前後)
	新たな活動を検討
	EX)首都圏での新大生参加の大会応援隊(新潟大学青松会首都圏応援隊)
	他支部との交流(群馬、長野、栃木、福島中央、会津、山形、東北、秋田、長岡)
11月下旬	第19回青松芝楽会
11月下旬	第89回青松ウォーキング
1月中旬	若手交流会
1月下旬	常任理事会(R5予算と活動計画)
2月下旬	第90回青松ウォーキング
3月中旬	常任理事会(R5第1回理事会準備)
	毎月5日前後に同窓会通信を配信

これを受けまして、令和5年度の予算は、大学本部からの助成金1,200千円、年会費収入300千円、総会理事会参加費230千円と繰越金1,017千円を合わせ、2,747千円の収入とさせて戴きました。

支出は、総会関係費500千円、支部会報発行費440千円、事務用パソコン購入費を含む事務経費で350千円、理事会・常任理事会関係費350千円、同窓会インターネット通信費で150千円、若手組織化・同好会支援費で140千円、予備費817千円の計2,747千円として承認されました。

特に令和5年度は、同窓会事務

務処理に専用のパソコン2台の購入とインターネット関係を新たに計上することで、今までの役員個人との事務処理の明瞭化を図り、若手や同好会の支援を昨年度以上に行うと共に、新潟大学の現役学生の首都圏での活動にも支援体制を整えることを新たな事業目的に掲げて予備費より支出することで、承認されております。

コロナ禍の大きな影響も今年度は軽減する環境を踏まえ、新しい事業活動を積極的に展開すべく会員の皆様方の一層のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(金額は四捨五入で記載)

新潟大学人文・法・経済学部同窓会首都圏支部

●令和4年度会計収支報告(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

《収入の部》 (単位：円)

項目	決算額	摘要	予算額
前年度繰越金	1,786,250		1,786,250
年会費収入	282,042		200,000
総会参加費	75,000		
理事会参加費	73,000		
本部助成金	0		
預金利子	3		2
合 計	2,216,295		1,986,252

●令和5年度事業予算(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

《収入の部》 (単位：円)

項目	予算	摘要
前年度繰越金	1,016,715	
本部助成金	1,200,000	
年会費収入	300,000	300人
総会参加費	150,000	30人×5,000円
理事会参加費	80,000	20人×2回×2,000円
利息	1	
合 計	2,746,716	

《支出の部》

項目	決算額	摘要	予算額
支部会報発行費	384,221		430,000
年次総会関係費	469,312		350,000
理事会関係費	135,629		192,000
若手組織化・同好会等事業費	8,000		100,000
同窓会通信充実費	39,096		100,000
常任理事会等打合せ費	37,329		70,000
事務経費他	125,993		70,000
事務所費	0		
予備費			
合 計	1,199,580		1,312,000
繰越金	1,016,715		

《支出の部》

項目	予算	摘要
支部会報発行費	440,000	会報印刷110,000、発送費220,000、その他110,000
年次総会関係費	500,000	印刷物発送費250,000、会場室料50,000、その他200,000
理事会関係費	250,000	理事会2回 会場室料22,000、交通費80,000 他148,000
若手組織化・同好会事業費	140,000	ウォーキング24,000、芝楽会16,000、若手組織化100,000
常任理事会等打合せ費	100,000	年4回予定
同窓会通信充実費	150,000	新規インターネット接続費含む
事務経費等	350,000	PC購入費12万×2台 含む
次期繰越金	816,716	
合 計	2,746,716	

退任・新任理事のご紹介

長年同窓会活動にご尽力いただいた村山弘義さんはじめ松久保孝司さん、飯島亜矢子さんがご退任となりました。今までのご活動にご協力に対し感謝申し上げます。

新任理事として佐々木覚さん(平成4年法)服部真吾さん(平成21年、大学院)の若い方の理事就任が承認されました。今後の若いパワーの発揮に期待いたします。

理事就任挨拶



佐々木 覚
(平成4年法卒)

この度、理事の就任のご推挙を頂きました平成4年法学部卒業の佐々木 覚と申します。

若輩、且つ微力ですが、理事会運営にご協力させていただきたく、宜しくお願い致します。

私は大学卒業と同時に旧さくら銀行(当時、現三井住友銀行)に入行し、以来約30年に亘り主に案件審査を担当する本部の審査部門スタッフとして勤務して参りました。本年3月にて第一線を退き、現在は銀行子会社のSMB C債権回収(株)に出向しております。

プライベートでは居住しているマンションの理事長や町内会役員を拝命しており、趣味とし

ては釣り・大型バイク・オーディオ鑑賞・写真撮影等を楽しんでいる人間です。

以上、今後ともよろしくお願い申し上げます。



服部 真吾
(平成21年大学院卒)

この度、理事に就任いたしました服部です。東京新潟県人会でお目にかかった成田事務局長にお声がけいただきました。私は、学部は他大学でございまして、その後新潟大学の大学院で学びました。同窓会への入会に際しまして規程改定まで行っていたいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

新潟大学の五十嵐キャンパスでは、朝から晩までひたすら勉

強していましたが、試験期間後には息抜きに岩室温泉に日帰り旅行した記憶があります。東京での忙しない生活から考えると、とてもゆつたりとした充実した時間でした。

私は、新潟大学大学院卒業後、日本の司法試験に合格して弁護士になりました。そして役所等で5年ほど働いた後、米国に留学し、ニューヨーク州の弁護士資格を取得して、現在は弁護士として独立しています。さまざま巡り合わせて新潟大学とご縁ができたことを大変嬉しく思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

人文・法・経済学部同窓会 首都圏支部の略称について

2020年に経済学部が経済科学部に改組いたしました。今後も学部の再編や新設等により名称が変わることも予想されますが、今回は名称変更はせず、略称として「新潟大学青松会首都圏支部」と称することに総会にて承認していただきました。

今後は「新潟大学青松会首都圏支部」という呼称を主に使用していきます。

略称を会員の皆様に親しんでいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

現役学生の首都圏での 活動支援について

事務局長
成田 浩

首都圏支部の新しい活動の取り組みとして、現役学生の首都圏での大会や発表会等の活動を同窓会やOB・OGとして支援しようと考えております。

但し、大学から首都圏での活動予定を情報提供する仕組みはございません。

そこで、皆さんから例えばサークルのOB・OGとして後輩の首都圏での活動予定が分かれば事務局に是非連絡をください。

場合によっては応援団を募り、同窓会からジュース等差し入れも可能です。

連絡は新しく設置した同窓会首都圏支部(新潟大学青松会首都圏支部)のメールアドレス seishohbuteken@gmail.com にメールをくださいますようお願いいたします。

尚、新潟大学のホームページからも後輩の活動の状況や予定等を知ることが出来ます。

新潟大学ホームページを開いて↓画面右上に「学生生活・就職」の中の「新大生の活躍」をクリックするとサークルやその他の活動が一覧できます。

首都圏での現役学生の活動を応援しましょう！

第19回青松芝楽会報告



桑原 興一
(昭和45年経済卒)

新型コロナで3年半も中断していた青松芝楽会のコンペは、5月19日(金)千葉県野田市の紫カントリークラブあやめEASTコースで13名の参加者を得て開催されました。新潟から遠路はるばる来られた栗原英雄さんが見事優勝を果たされ、6年ぶりに優勝カップを新潟の地に持ち帰られました。

コロナ禍でも練習に励み続けた方はその成果がスコアに現れ、森正勝さんは準優勝、相馬潔さんは3位の成績となり、やはり日頃の精進の大切さを改めて感じさせられました。

中断していた3年半の間には、高齢でゴルフを諦めた方、体調の変化で参加できない方もいて、メンバー

の減少で会の運営が難しくなることが危惧されております。表彰式の後には懇親会では若い世代にどのようなよう



(第3面から続く)

に引き継いでいくかについて話が及びました。期待が持てるいくつかのアイデアも出され、将来に対する杞憂も少し和らいたところで、今回のコンペがお開きとなりました。

青松ウォーキング報告

石黒 清

(昭和41年経済卒)

平成17年3月から同窓会活動として始めた青松ウォーキングは、同窓会会員のほか会員の奥様や子弟の参加も得て今年5月までの実施回数は91回を数えました。番外で実施した本部と共催の越後湯沢ウォーキング、会津支部と合同実施した会津市街歴史散歩、工学部と共催した大宮氷川神社お花見ウォーク、武田信玄のかつての軍用道路「信玄樺道」歩きを含めれば実施回数は95回になります。

この活動には途中から山我正明さん(昭和40年経済卒)から手伝ってもらいましたが、同窓会員から関心を持ってもらい賛同を得、本部から経済的な支援もあつて続けてきました。

今年5月14日に実施した青松ウォーキングは豊かな自然と史跡が残る石神井公園をぐるっと一巡りするコースです。少しお天気を気にしながら集合場所の西武池袋線練馬高野台駅に集まった参加者は12名。久し振り



に参加の会員もあつて賑やかにスタート。ところが石神井公園に行つてみてビックリ。当日は石神井城主、豊島氏の娘照姫の伝説にちなんだお祭りがあつて石神井公園周辺は大変な人出でした。なんとか人出を避けながら石神井池・三宝寺池を歩き、豊島氏ゆかりで荘厳な佇まいを残す道場寺、三宝寺、氷川神社、石神井城跡などを巡つて石神井公園駅まで歩きました。ゴール地点の石神井公園駅周辺はお祭りでもちやくちや混雑していましたが運よく焼き鳥屋の席を確保でき、コロナの行動制限から解放されて完歩できたことに感謝して乾杯。参加の奥様達は普段入ったことのないお店でランチができたこと気に入ってくれたようでした。

青松ウォーキング常連が「も

う膝がダメ、腰がダメ」などなど参加者がだんだん減ってきたのは残念ですが、昭和36年法卒の服部和夫さんからは「100回までやつて」と檄を飛ばされています。

(写真は豊島氏の祈願寺として開山した真言宗の名刹 三宝寺奥の院前で..撮影 石黒)

メールマガジンを発行しています

首都圏支部では、毎月5日ごろにメールマガジンを発行しています。主な内容は次の通りです。

★首都圏支部事務局からのお知らせ

★同窓会の企画のご案内(ウォーキング、ゴルフ、講演会、交流会、懇親会など)

★大学や同窓会本部に係するニュース、HPやFacebookなどの記事の紹介

★今どきの新潟のニュースや話題★活躍する同窓生のご紹介 など

今後は首都圏での現役世代(五十嵐会)の交流をより活発に行い、メールマガジンでも情報を積極的に伝えたいと考えられています。メールマガジンを受信希望の方は、下記のメールマガジン配信アドレスまでお知らせください。また、記事も広く募集しておりますので、情報が

ありましたら同アドレスまでお願いします。



配信アドレス:

jnk3stkknku@yahoo.co.jp

編集後記

昨年の編集後記では梅雨明けの早さについて書いたのですが、今年は新潟の夏の暑さに驚く年になりました。雨が全く降らない新潟では、農作物への影響が大きく、8月末に帰省したときにはすでに稲刈りをしている風景にも出会いました。こんなに早い時期の稲刈りを見たのは初めてのように思います。

今年の首都圏支部総会では、成田事務局長からの報告にもありましたとおり、多くの方が参加してくださいました。いまだに初めてお会いできた方々が何人もいて感慨深いものがありました。また、この夏は本部の記念行事もあり、久しぶりに新潟に足を運んで旧交を温めた方も多いのではないでしょうか。新潟も変わりましたね。人の流れがまた動き出した昨今、さらに同窓会行事や交流が活発になるように願っています。

(岡 小夜子 平成4年人文卒)



総会後懇親会



総会記念写真